

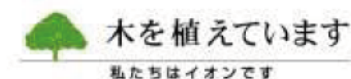
平成30年度三重県食品ロス対策セミナー



持続可能な社会の実現をめざして イオン食品廃棄物削減目標



2019年1月15日
イオン株式会社
グループ環境・社会貢献部
金丸 治子

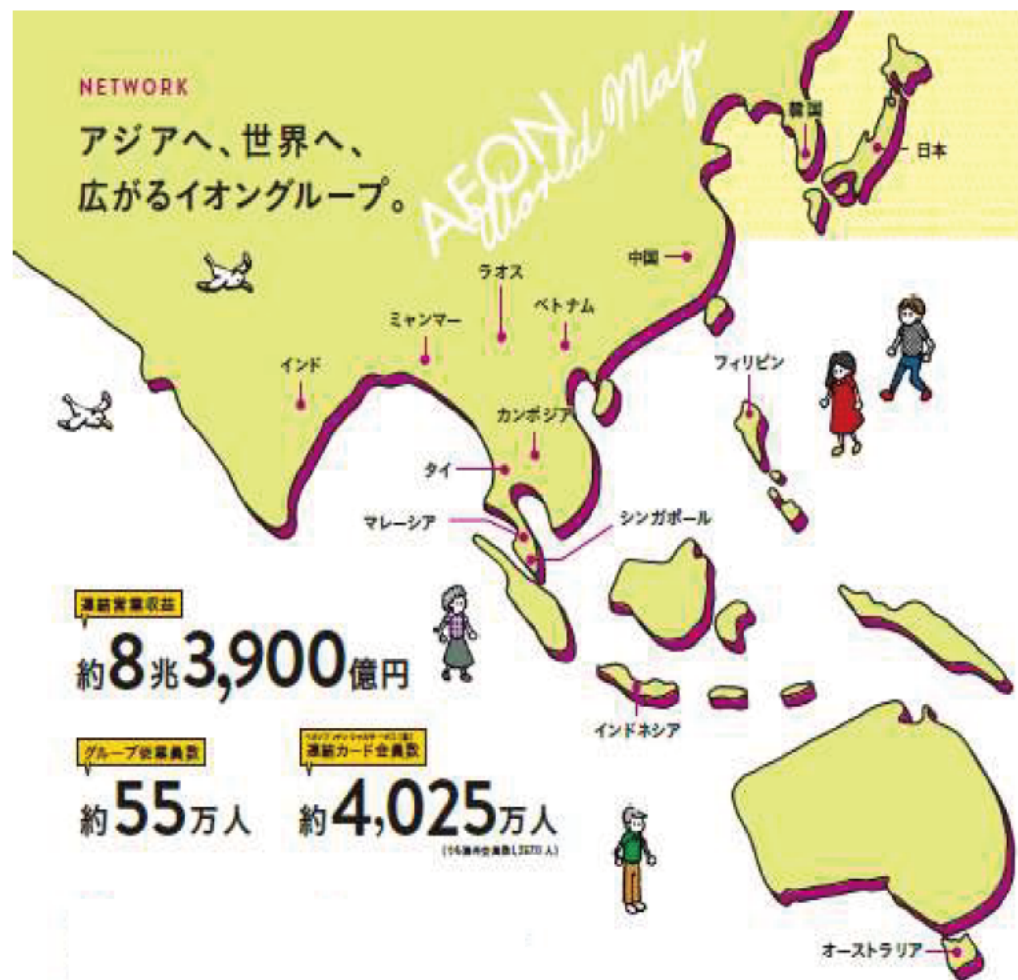


イオングループの概要 基本理念 イオン サステナビリティ基本方針



木を植えています
私たちはイオンです

日本・中国・アセアンで2万店舗/カ所で展開しています。



合計

21,742店舗/カ所

● GMS(総合スーパー)	584店舗
● SM(スーパーマーケット)	2,185店舗
● DS(ディスカウントストア)	568店舗
● HC(ホームセンター)	122店舗
● CVS(コンビニエンスストア)	5,436店舗
● 専門店	4,324店舗
● ドラッグストア	4,376店舗 ^{※1}
● その他(小売)	938店舗
● モール型SC(ショッピングセンター)	311カ所 ^{※2}
● NSC(近隣型ショッピングセンター)	162カ所 ^{※3}
● 金融	690カ所
● サービス	2,045カ所
● タスマニア直営牧場	1カ所

※1 友好提携会社を含む

※2 名称が「イオンモール」のSCに加え、総賃貸面積20,000㎡以上のものを含む

※3 名称が「イオンタウン」のNSC

連結子会社、持分法適用関連会社の店舗数

(2018年2月末時点)



木を植えています

私たちはイオンです

イオンの基本理念

イオンとは、ラテン語で「永遠」

お客さまを原点に平和を追求し、
人間を尊重し、地域社会に貢献する。

- 小売業の繁栄は、「**平和**」の象徴
- 小売業は人間同士のつながりを
基盤とする「**人間**」産業
- 地域に根ざし、地域と ともに
発展する「**地域**」産業

イオンの基本理念



お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。



イオン(AEON)とは、ラテン語で「永遠」をあらわします。

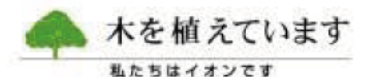
私たちの理念の中心は「お客さま」：イオンは、お客さまへの貢献を永遠の使命とし、最もお客さま志向に徹する企業集団です。

「平和」：イオンは、事業の繁栄を通じて、平和を追求し続ける企業集団です。

「人間」：イオンは、人間を尊重し、人間的なつながりを重視する企業集団です。

「地域」：イオンは、地域のくらしに根ざし、地域社会に貢献し続ける企業集団です。

イオンは基本理念のもと、絶えず革新し続ける企業集団として、
「お客さま第一」を実践してまいります。



イオン サステナビリティ基本方針

私たちイオンは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」という基本理念のもと、「**持続可能な社会の実現**」と「**グループの成長**」の両立を目指します。

取り組みにあたっては、「**環境**」「**社会**」の両側面で、グローバルに考え、それぞれの地域に根ざした活動を、多くのステークホルダーの皆さまとともに積極的に推進してまいります。

環境面の重点課題

- ・低⇒脱炭素社会の実現
- ・生物多様性の保全
- ・資源循環の促進

社会面の重点課題

- ・ 社会の期待に応える商品・店舗づくり
- ・ 人権を尊重した公正な事業活動の実践
- ・ コミュニティとの協働

取り組み
の視点

店舗で

商品で

お客さまとともに



木を植えています

私たちはイオンです

2017年10月発表

食品廃棄物削減目標2025

～資源を有効利用するために～



【コンセプト】

「リデュース」「リユース」「リサイクル」の3Rの手法で、
廃棄・燃焼し、埋め立てに回るゴミをゼロにしていきます

店舗・商品で



お客さまとのコミュニケーションを通じて



地域とともに



廃棄物の分別・計量、量の
「見える化」による削減取組



Reduce

Recycle

買物袋持参運動



Reduce

リターナブルコンテナの利用



Reuse

イオングループ食品廃棄物削減目標

1. 食品廃棄物を2025年までに半減

発生原単位（売上百万円あたりの食品廃棄物発生量）を2015年度比で、
2020年までに25%削減、2025年までに50%削減

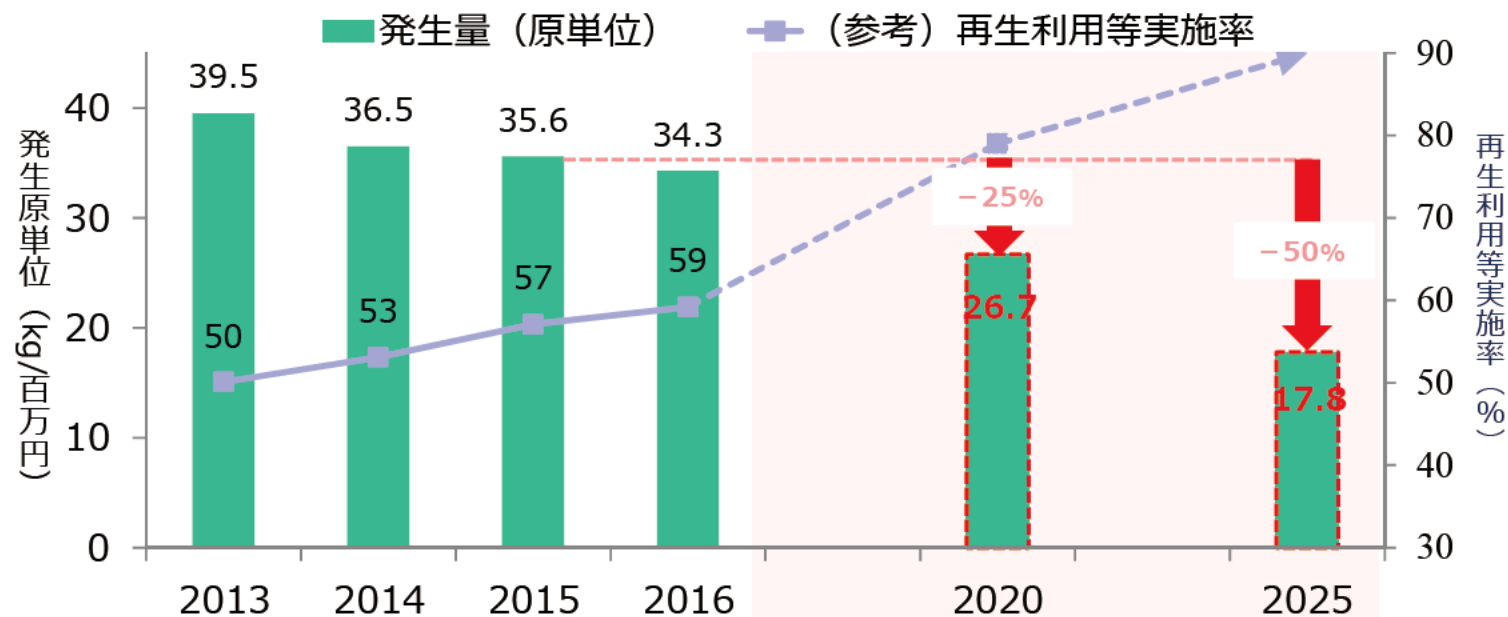
2. 食品資源循環モデルの構築

店舗・生産者・リサイクル業者等の連携による地域循環モデルを
全国10か所・グループ1000店舗以上で構築

食品廃棄物発生量の削減（目標値）

グループ横断的に、各エリア単位で取り組みを推進

【イオングループ 食品廃棄物発生量（原単位）の推移】

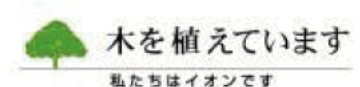


これまでの取り組み
 ・発注精度の向上
 ・販売容量の見直し
 ・廃棄売変削減
 ・ISO14001の運用
 ・分別・リサイクルの徹底

+

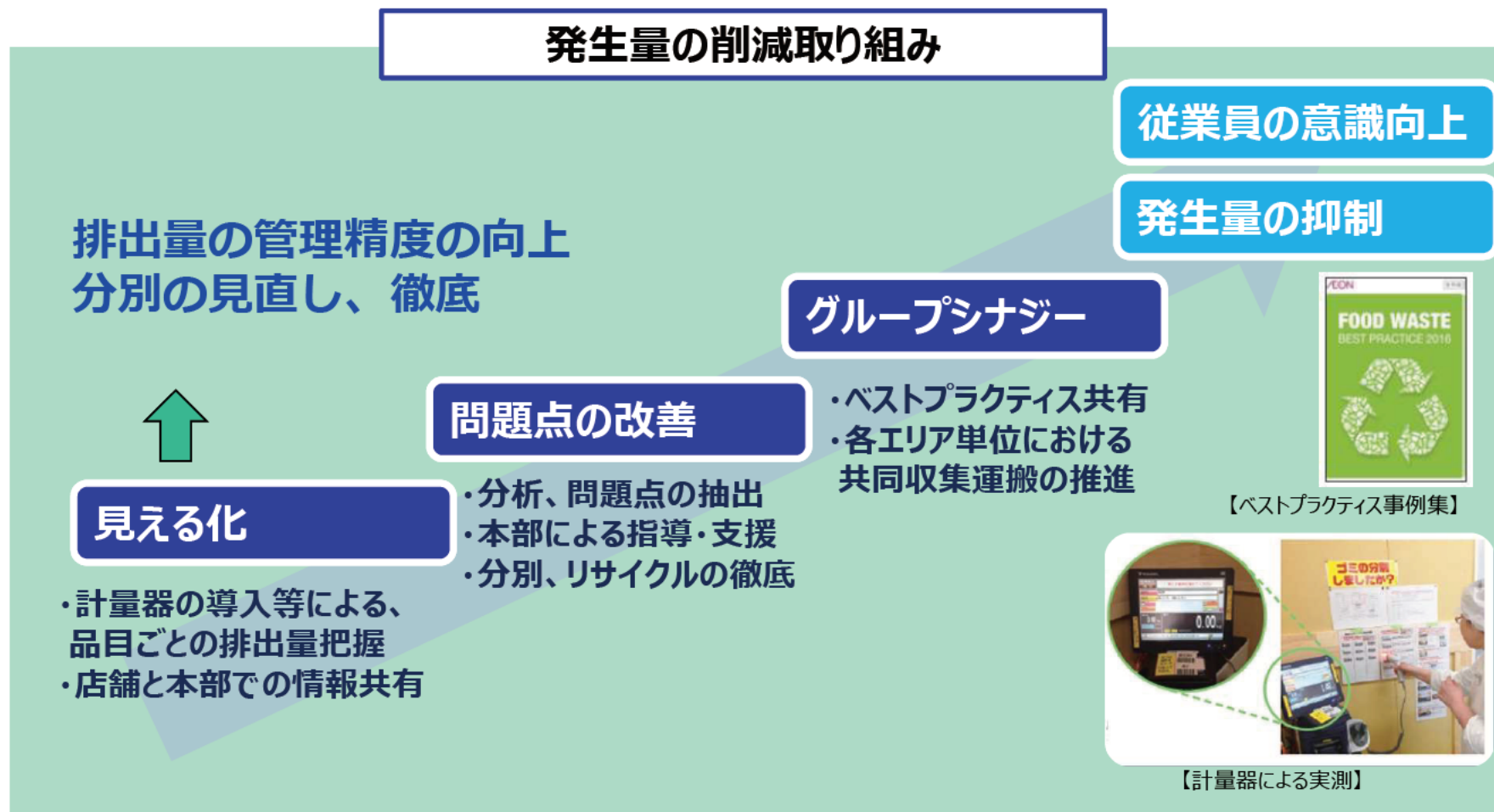
- ◆エリア別推進組織の設置
- ◆「廃棄物の見える化」促進
- ◆資源循環モデル10か所構築

2017年度実績 32.1kg/百万円、 61.5%



店舗・商品を通じて：食品廃棄物発生量の削減

「見える化」を通じて、発生量の削減と従業員の意識向上へ



店舗・商品を通じて：賞味期限の年月表示

PBの加工食品で、賞味期限1年以上の商品を、今後2年以内に年月表示へ変更予定。2018年4月以降、順次変更。

年月表示イメージ



変更前



変更後

2018年4月から年月表示へ変更の商品



トップバリュ純粋はちみつ(250g)



トップバリュ鶏五目釜めしの素(264.7g)



トップバリュ北海道産生クリームのクリームシチュー(150g)

店舗・商品を通じて：

CooKit まるごと献立キット の提案



CooKit だしのうま味引き立つ筑前煮

カット野菜



木を植えています
私たちはイオンです

お客さまとともに:店頭での啓発活動

政府や自治体と連携し、お客さまへ食品ロス削減行動を呼びかけ

店頭キャンペーン (2017年・2018年)

農水省、環境省、全国自治体と連携した食品ロス削減キャンペーン



【店頭POPイメージ】



【クッキングステーションで情報発信】



【ポスターの掲示】

食品ロス削減アイデア募集

イオンチアーズクラブと連携
家庭で出来る食品ロス
アイデア募集



食品保存グッズの訴求

食品売場に、食品保存容器を展開



食品ロス削減の取り組み強化

- 拠点店舗での自治体と連携したステージ企画
東京都、京都市、神戸市、大阪府、仙台市

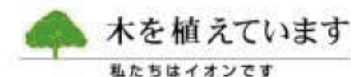
- トップバリュHOMECOORDY保存容器の展開等
残りもの、作り置きの上質な保存を呼びかけ



- イオンリテールのクッキングステーション設置店舗にて食品ロス削減メニューの実演
企画内容: ハロウィンかぼちゃの使い切りメニュー実演
消費者庁「食品ロス削減啓発用パンフレット(基礎編)」の設置
実施期間: 35W(10/24～30)

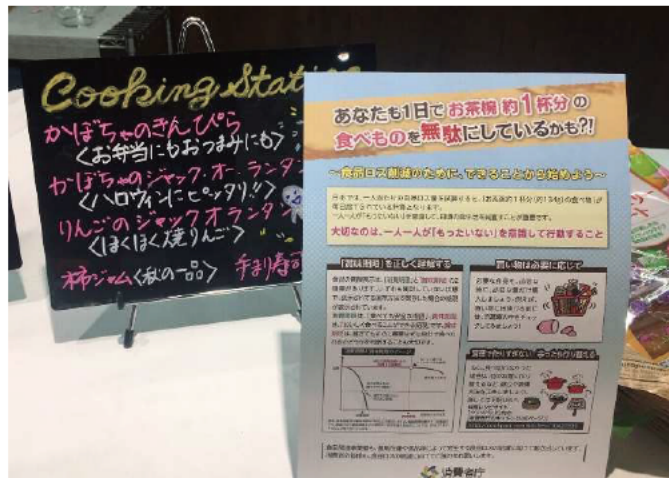
- 3Rキャンペーン店内アナウンス放送(10/1～10/31)

環境省提供の音源データを放送、3Rの行動促進及び食品ロス削減を呼びかけ。



食品ロス削減（かぼちゃ使い切り）レシピの実演

●イオン幕張店



リーフレット(消費者庁)による啓発



使い切りメニューの提案

栄養士による実演、試食、お客さまとのコミュニケーションにより、野菜等の使い切りを楽しく提案



実演と試食



お客さまとのコミュニケーション

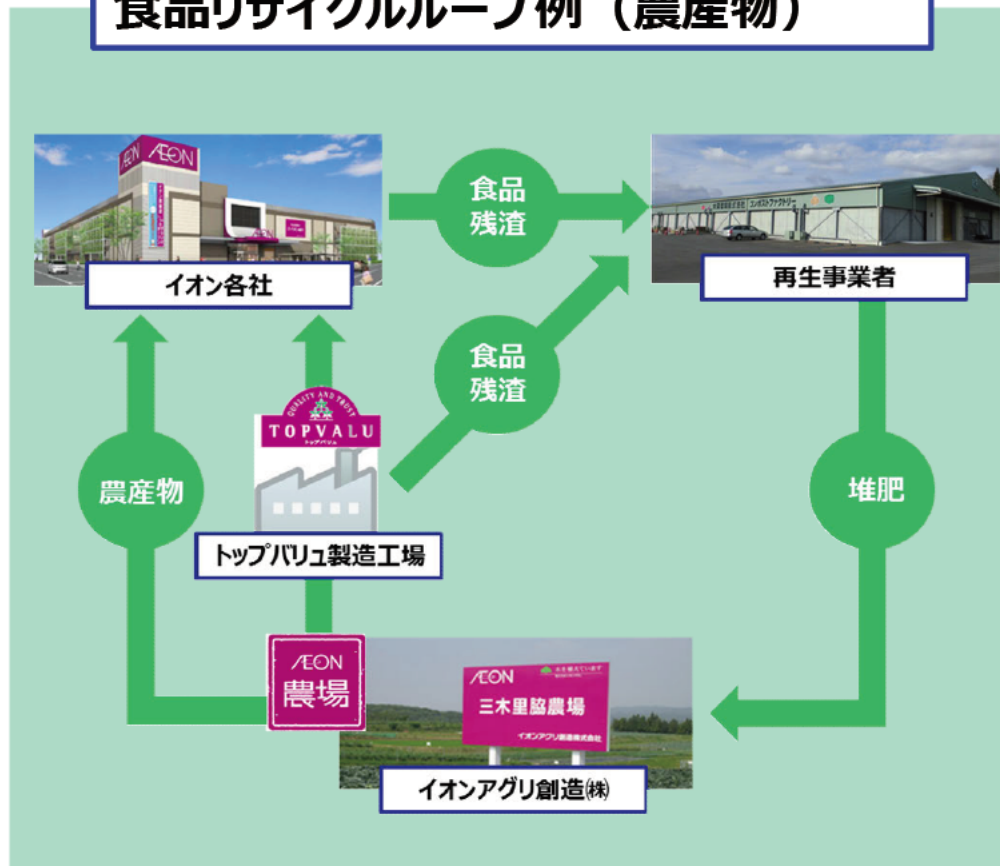


イオンはお客さまとともに食品ロス削減に取り組んでいます。

地域とともに：食品資源循環モデルの構築

店舗や直営農場を拠点に、全国でイオン独自の循環モデルを構築

食品リサイクルループ例（農産物）



全国各地域10か所・グループ1000店舗以上



全国の既存ループの整理

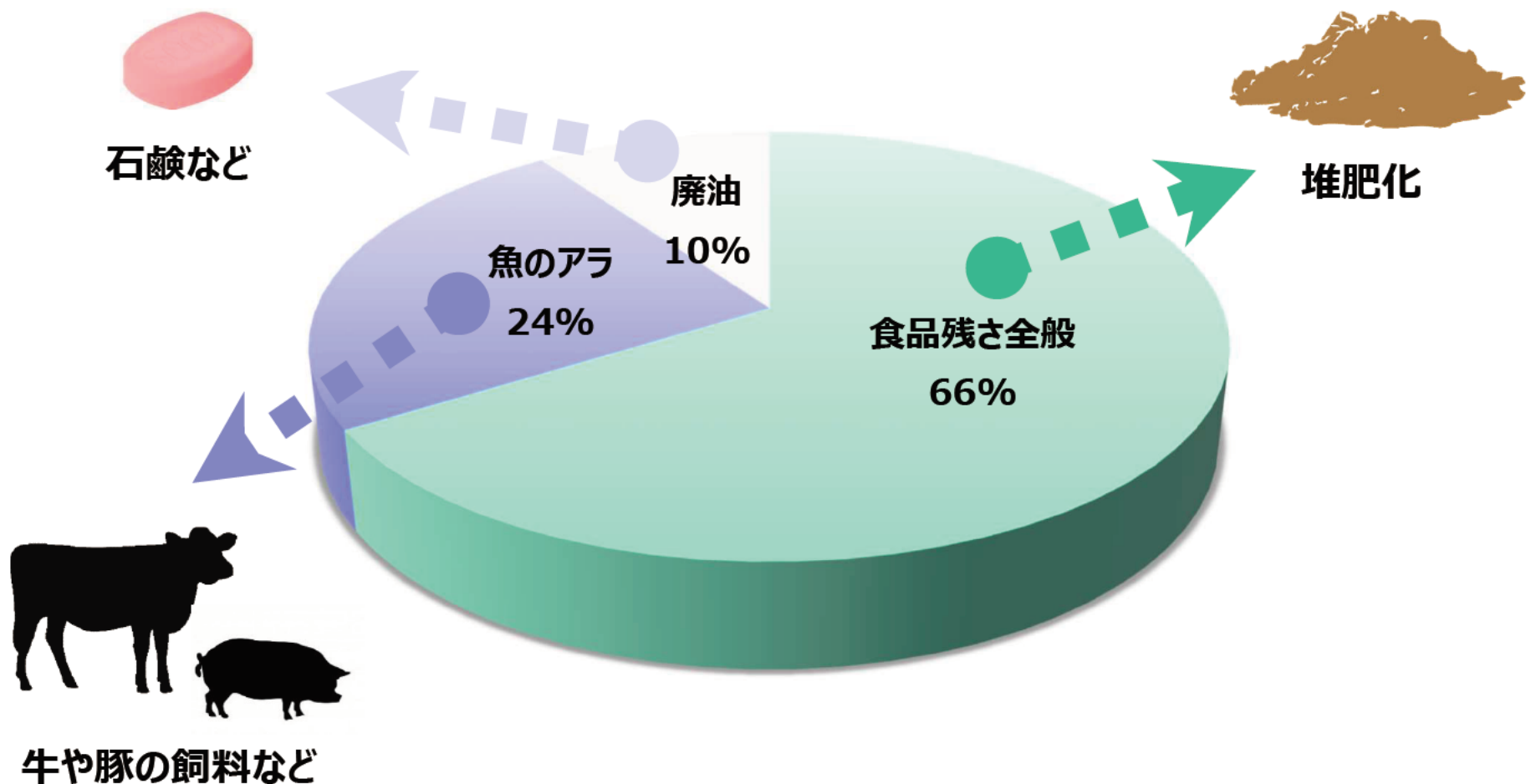
木を植えています
私たちはイオンです

イオン完結型食品リサイクルループ



例：マックスバリュ王子店の食品廃棄物内訳

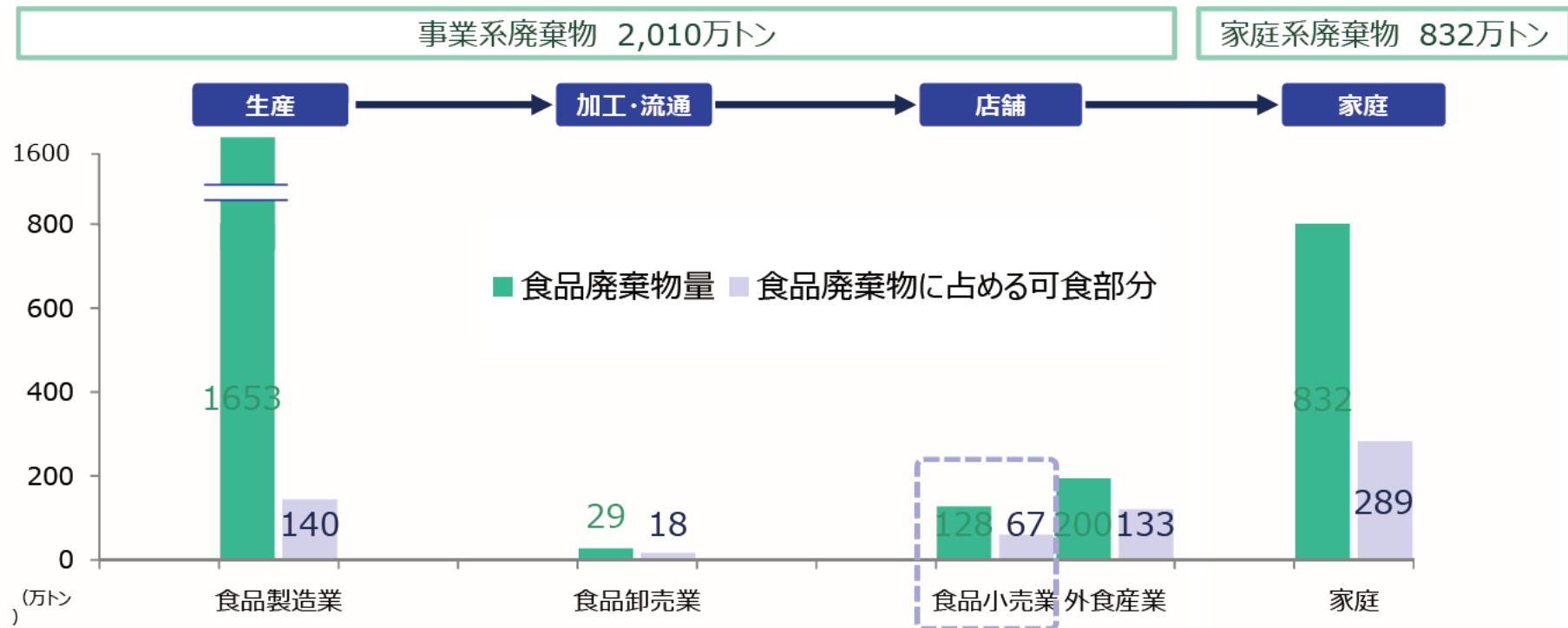
食品廃棄物を100%リサイクルして再利用



Copyright (C) 2017 AEON Co., Ltd. All Rights Reserved.

木を植えています
私たちはイオンです

バリューチェーン全体で取り組みを推進

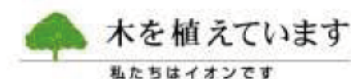


	生産	加工・流通	店舗	家庭
発生抑制	- 農産物の規格外品（形状・サイズ） - 規格外原料の活用 - 鮮度向上技術の進化 - 賞味期限の延長 - 賞味期限の年月表示 - リサイクル原料の活用	- 製造、加工の一元化 - 納品期限の緩和 - 輸送時間の短縮	- 発注精度の向上 - 発注単位の見直し - 容量、風袋の見直し <u>廃棄物の見える化</u>	- 啓蒙活動（食品ロス予防） - 食育セミナー等

2018年3月発表

イオン 脱炭素ビジョン2050

～温暖化を防止して地球環境をまもるために～



脱炭素社会の実現に向けて

イオン 脱炭素ビジョン2050

イオンは、3つの視点で温室効果ガス（以下CO₂等）排出削減に取り組み、脱炭素社会の実現に貢献します。

店舗

店舗で排出するCO₂等を2050年までに総量でゼロにします。

商品・物流

事業の過程で発生するCO₂等をゼロにする努力を続けます。

お客さまと
ともに

すべてのお客さまとともに、脱炭素社会の実現に努めます。

2017年4月発表

持続可能な調達方針 2020年目標 ～自然の恵みを守るために～



持続可能な調達2020年目標（2017年4月発表）

チャレンジ2

農産物	・ プライベートブランドは、GFSIベースの適正農業規範（GAP）管理の100%実施をめざす。 ・ オーガニック農産物の売上構成比5%をめざす。
畜産物	・ プライベートブランドは、GFSIベースの食品安全マネジメントシステム（FSMS）または、適正農業規範（GAP）による管理の100%実施をめざす。
水産物	・ 連結対象のGMS、SM企業で、MSC、ASCの流通・加工認証（CoC）の100%取得をめざす。 ・ 主要な全魚種で、持続可能な裏付けのあるプライベートブランドを提供する。
紙・パルプ ・ 木材	・ 主要なカテゴリーのプライベートブランドについて、持続可能な認証（FSC認証等）原料の100%利用をめざす。
パーム油	・ プライベートブランドは、持続可能な認証（RSPO等）原料の100%利用をめざす。

継続的な取り組み

これまでも、これからも

～ 店舗、商品、お客さまとともに ～



木を植えています
私たちはイオンです

店舗での取り組み

イオンのecoプロジェクト

2012年より開始
2020年度に向けたエネルギー方針



店頭での資源回収

1991年より開始
紙パックや食品トレイなどの回収ボックスを設置
(2017年度実績)

紙パック 約1億5,282万本	食品トレイ 約4億3,551万枚
アルミ缶 約3億3,510万本	ペットボトル 約1億7,183万本

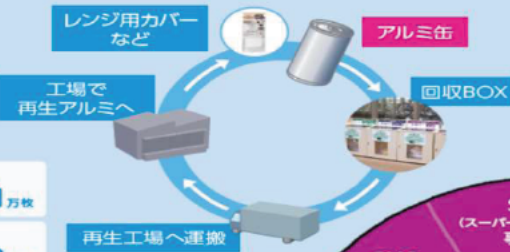
買物袋持参運動

1991年より開始
レジ袋削減枚数27億3,542万枚、
CO₂換算で約84,000tを削減
(2017年度実績)



スマートイオン

2013年より開始
地域と協働して、エネルギーの
効率的な利用や防災対応を行う
次世代の店舗を全国10店舗展開
(2018年2月末現在)



環境の取り組み

植樹活動

1991年より開始
お客さまとともに1,166万本植樹
(2018年2月末現在)



トップバリュ グリーンアイ

1993年より開始
健康と自然環境に配慮した
安全・安心ブランド



フェアトレード

2004年より開始
お買物を通じて
途上国の生産者の
自立を支援



MSC認証

2006年より開始
持続可能な漁業で獲られた
水産物(天然魚)22魚種40品目を
展開(2018年2月末現在)



ASC認証

2014年より開始
責任ある養殖により生産された
水産物(養殖魚)8魚種16品目を
展開(2018年2月末現在)



FSC®認証

2008年より開始
適切に管理された森から
生産された木材や紙



イオン 幸せの黄色い レシートキャンペーン

2001年より開始
登録団体数のべ29万3,600団体、
累計で約34億2,935万円を贈呈
(2018年2月末現在)



イオン チアーズクラブ

1996年より開始
子どもたちに環境学習や体験
の場を提供
約460クラブ、約7,700人の
子どもたちが参加
(2018年2月末現在)



ご当地WAON

2007年より開始
ご当地WAONカードの
ご利用金額の一部を社会の発展に活用
134券種を発行、
累計で約12億7,247万円を寄付
(2018年2月末現在)



東北応援

「にぎわい東北
—つなげよう、ふるさとのチカラ—」

「地域(ふるさと)の創生」に向けた取り組み
・植樹本数約25万本
・ボランティア参加従業員数約28万4,000人
(2018年2月末現在)



お買物での取り組み

地域の取り組み

ご清聴ありがとうございました。

